

道教組定期大会開催 大竹、大島両代議員が発言

3月15-16日に道教組定期大会が行われ、空知からもものべ3名の代議員が参加しました。大竹、大島の両代議員の発言の要旨をご紹介します。

【大竹代議員】



巡回指導教諭をやっている3年目。雨竜町は小中連携ジョイントプロジェクトを行っているため元々の任期は1年だが3年やることになった。

子どもたちにどうやって力をつけていくかという話になり、学力テストの点数をどう上げるかという話に結局はなってくる。

一番びっくりしたのは、小学校で「先生、これテストに出ますか」という質問。要はテストに出ないものは勉強する必要がないと考えている。

チャレンジテストも初めは宿題や朝学習だったのが、次第に授業の中で扱われたりする。

道教委の官製研修には年4回ほど参加している。そのたびに言われるのは平成26年までにはなんとか点数を全国平均以上に上げろということ。つい最近あった研修では、参加者がブロックに分かれ、テーマに沿って話し合う。私のブロックのテーマは「どうやって宿題を充実させるか」。私が言ったのは「宿題を充実させる前に、どうして宿題を出さないといけないんですか?」だったが、指導主事は取り合ってくれなかった。

こちらも余裕がない中、トップダウンで言われることが多くなってきて、こちらも受けざるを得ない状況が生まれている。すごく変化が早い状況だからこそ、私たちは学んでいるいろいろなことを意見として伝えることが大切だ。

【大島代議員】



私が空知教組に入ったことを話す。23年は北教組。父親は高校教員で組合活動を熱心に行っていた。不当な異動を受けたが組合の力で元に戻れたので、子ども心に組合っていいもんだという気持ちになっていた。

社会的なことにも興味があったし、就職した時も組合に入って当然という意識があった。当時は、北教組内で主流反主流の闘いを見てこりやすこいと思っていた。

何年かして空知教組ができたことを知った。ホントは私もそちらに行きたかったが、それを言ったら職場の総スカンを食うことが目に見えていた。異動したらと考えたが、実際はうまくいかなかった。その後20年くらいたち、モヤモヤしたものもありつつ北教組支会長等の役員もやってきた。

5年前、深川の一巳中学校に異動した時に、特別支援学級に山田隆司先生がいた。私も特別支援学級だったので、一緒に仕事をしていく中で感銘を受けた。その山田先生が全教だと知って凄く思い、心の中で拍手を送っていた。その時には、空知教組に入ろうと思っはいいなかったが、山田先生があと1年で退職という時に、「そうか、入るなら今だ!今を逃したら二度と入れない!」と思い組合に入った。勧誘ゼロで奇跡の入会と言われた。

組合に入って自分の気持ちとしてすごく落ち着いた。北教組からもバッシングはない。むしろ「良かったね」と言葉をかけてくれる人がいたほど。北教組の人でも不満を持っている人もいるはずだから、ぜひ声をかけてみよう。

空知教組定期大会行われる 2014新役員を選出して終了

3月1日(土)に第25回空知教職員組合定期大会が開催されました。初めての試みで13時からの開始となりましたが、短時間にもかかわらず活発な意見が交流され、内容の濃い大会となりました。新年度、組合を引っ張っていく組合役員は右の表の通りです。大会後は、今期で勇退される書記の久保文子さんを交えて賑やかな夕食会となりました。



【定期大会後のお食事会にて撮影】

2014年度空知教職員組合役員

役職名	所属部局課名 (勤務先)	職名 (職業)	氏名
執行委員長	滝川市立滝川第一小学校	教諭	川村 安浩
執行副委員長	夕張市立ゆうばり小学校	教諭	斎藤 秀昭
書記長	北海道雨竜高等養護学校	教諭	関屋 元
書記次長	北海道南幌養護学校	教諭	小宮 秀紀
会計委員	岩見沢市立志文小学校	教諭	板宮 清子
執行委員	滝川市立明苑中学校	教諭	大島 信子
執行委員			
監査委員	美唄市立美唄東中学校	教諭	櫻井 貴幸

櫻井監査委員は4月より滝川市立江陵中に異動